



地域貢献と環境美化を推進 ごみ拾い奉仕活動

3月23日、箱田住宅工業（柏桑野木田）が地域貢献と環境美化を目的に従業員約30人で春のごみ拾い奉仕活動を行いました。

ごみ拾いをを行った場所は、イオンモールつがる柏店周辺から五所川原大橋までの約1キロの範囲で、約2時間かけて空き缶や紙くず等軽トラック1台分のごみを拾い集めました。

黄色安全帽子を贈呈

市交通安全母の会

4月7日、市交通安全母の会連合会（会長花岡トキ）が向陽小学校の入学式において新1年生54人に黄色安全帽子とランドセルカバーを贈呈しました。

母の会では交通安全事業の一環として、毎年市内の新入学児童へ贈呈しており、向陽小学校を訪れた花岡会長は「地域、学校、母の会が協力して子どもたちを交通事故から守りましょう」と述べていました。



春の全国交通安全運動 交通事故防止総決起大会

4月8日、松の館で春の全国交通安全運動に伴う「つがる市民交通事故防止総決起大会」が行われ、市民ら約250人が参加しました。中山署長は「交通弱者を事故から守るためには、地域の皆さんがリーダーとなって協力することが大切です」とあいさつし、館岡子供交通指導隊と柴田子供交通指導隊が交通安全誓いのことばを発表しました。

また、アトラクションでは青森県警察音楽隊による演奏が行われ、カラーガード隊が登場するなど盛り上がりしていました。

音読で脳を活性化

東奥日報音読教室

4月9日、松の館で東奥日報社と東奥日報つがる市内販売店の主催による「脳を元気にする東奥日報音読教室」が行われ、市民ら24人が参加しました。教室は脳研究の第一人者である川島隆太東北大学教授の推奨を得て開催しており、中野正明さんと花岡トキさんがトレーナー役を務め、音読の指導を行いました。中野さんは「音読は、文章を理解できなくてもいいので早く読み、食後に行くと効果があります」と話していました。教室は9月まで月2回開催されます。



良質な苗を育てよう メロン・すいか育苗巡回指導

4月10日、メロン・すいかの健苗育成と良質苗生産技術の向上を図るため、育苗ハウス巡回指導が行われました。

西北地域県民局普及指導室の小枝秀主査は「3月の気温が高かったため苗の生育は順調で定植が早まると思います。霜害には注意するよう呼び掛けてください」と関係者に指導のアドバイスをし、関係者ら21人が5班編制に分かれ17集落21戸の巡回指導に出発。巡回した担当者は農家のハウスに入り、苗の水管理や土の乾き具合等を確認して指導していました。

児童、生徒を励ましたい

CDを制作し寄贈

4月10日、蛭名直照さん（東北町出身）が市教育委員会を訪れ、自ら作詞・作曲したCD21枚を寄贈しました。

寄贈したCDのタイトルは「希望の鏡」、蛭名さんの母親が再発したガンと闘いながら前向きな姿勢を失わなかった姿を曲にしたもので、蛭名さんは「子供たちにも聞いてもらい、苦難を乗り越えて前向きに生きる気持ちを培ってほしい」と話していました。小林教育長は「子供たちの教育のために活用させていただきます」とお礼を述べていました。



火は見てる あなたが離れる その時を! 春の火災予防運動

4月14日、松の館駐車場で春の火災予防運動（14日～20日）のパレード出発式が行われ、消防団員ら関係者約80人が参加しました。出発式で福島市長は「最近、林野火災やその他火災の発生が多発しています。市民の防火に対する関心を高めさせ消防団員、関係者が一丸となって火災予防に取り組んでください」とあいさつしました。

式終了後は、消防ポンプ車25台が出動し「防火対策は万全ですか」と呼び掛けながら市内をパレードしました。



交通死亡事故皆無1000日達成 交通安全協会車力支部

4月14日、交通安全協会車力支部が交通死亡事故皆無1000日を達成し、つがる警察署で表彰式が行われました。表彰式では、桜庭修安全協会長が松橋孝一車力支部長に表彰状と記念品を手渡し、松橋支部長は「地域住民と協力しながら1500日、2000日を目標にがんばります」と抱負を述べました。車力地区では、平成17年7月15日に高山稲荷神社付近の県道交差点で、RV車と軽自動車との出会い頭の衝突事故で2人が死亡して以来の1000日達成となります。



山火事防止

パレードで呼び掛け

4月18日、木造、森田、車力地区の森林に携わる関係者らが山火事防止宣言パレードを行いました。

広報車等によるパレードは、山火事防止運動月間に伴い開催され、市役所前を出発して森田地区から車力地区までの屏風山周辺集落を巡回し、「空気が乾燥している時期は、農作業や山菜取りなどでの火の取り扱いには十分注意してください」と市民に呼び掛けていました。



苗木の無償配布

緑化意識の普及を図る

4月18日、イオンモールつがる柏店で青森県山火事防止対策協議会の西北支部が山火事に対する関心を高め、緑化意識を普及しようと苗木の無償配布を行いました。

無償配布された苗木は、ヤマツバキ、ヤマアジサイ、クサボケの3種類300本で、訪れた市民らは苗木を受け取り緑化推進のためにと緑の募金に協力をしていました。

